



STORIA

子どもたちの未来をつむぐ



第1回 厚労省見守り連絡会議

「仙台市で実践する見守り強化支援事業」

認定NPO法人STORIA

つなぐ おもい つながる

—— 東日本大震災から 10 年 ——

STORIA代表：佐々木 綾子

- ・ 2014年 ひとり親家庭等自立促進計画策定協議会委員
- ・ 2016年 NPO法人STORIAを発足
- ・ 2017年 仙台市経済局 ソーシャルイノベーションアクセラレーター一期生
- ・ 2018年 仙台市総合計画審議会委員
- ・ 2019年 仙台市住生活基本計画検討委員会委員
- ・ 2020年 協働まちづくり推進委員会委員



<特定非営利活動法人STORIA概要と実績>

■ 活動

2016年4月にSTORIA設立。同年の7月に地域と協働し、困難を抱えるご家庭の子ども「生きる力を育む居場所」を開設。2021年からは、仙台市・地域と協働で孤立家庭を防ぐためのアウトリーチ事業、ひとり親生活向上支援事業、要保護児童等見守り強化支援事業を委託を受け、保護者と子どもの支援事業を行っている。

■ 2017年度 独立行政法人福祉医療機構から優良事業に選定

- ・ 152団体の中で優良事業7団体の一つとして評価いただく

■ 2020年の活動実績

<事業内容>

- ・ 仙台市孤立する家庭を防ぐアウトリーチ事業
- ・ ひとり親生活向上支援事業
- ・ 要保護等見守り強化支援事業
- ・ 子どものサードプレイス事業（2拠点）

<実績>

- ・ アウトリーチ 679世帯 / ・ 子ども780名（延べ数）
- ・ 相談件数 4561件 / 連携機関と対応数 106件
- ・ 要保護児童の見守り102世帯

■ 代表経歴 佐々木綾子

- ・ 2013~2018年NPO法人アスイク理事
- ・ 2014年 ひとり親家庭等自立促進計画策定協議会委員
- ・ 2016年 NPO法人STORIAを発足
- ・ 2017年 仙台市経済局 ソーシャルイノベーションアクセラレーター一期生
- ・ 2018年 仙台市総合計画審議会委員
- ・ 2019年 仙台市住生活基本計画検討委員会委員
- ・ 2020年 協働まちづくり推進委員会委員

VISION

愛情が循環する未来へ

多くの方々とともに、
子どもたちが自分らしく生きられ、
幸せになるための未来をつくる



テレビ東京、独立行政法人福祉医療機構のフォーラム、グラミン日本様、楽天様、SIAパネラー等の講演多数。

1, ひとりに寄り添う「孤立する困難家庭と子どもの包摂的事業」

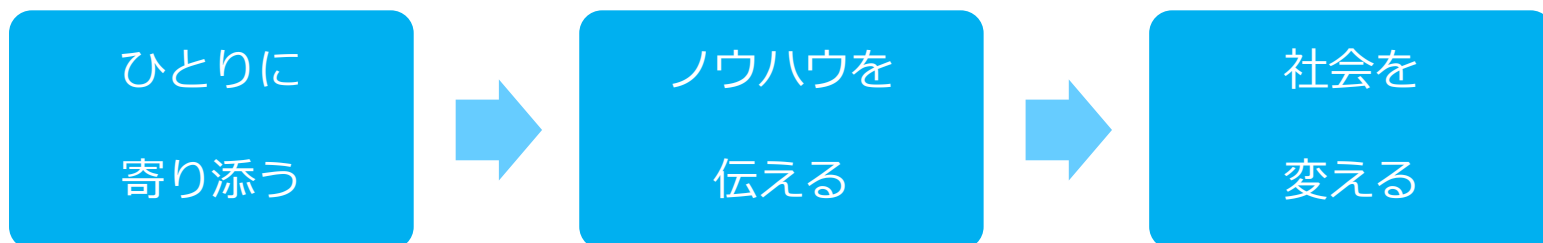
- (1) ひとり親や困難家庭のためのアウトリーチ事業
- (2) 子どもの生きる・育むを支えるサードプレイス事業

2, ノウハウを伝える

- (1) NPO等対象の研修事業
 - ・相談支援、子どもの非認知能力

3, 社会を変える

- (1) 法人向け研修事業
- (2) 個人向け勉強会事業
 - ・子どもの貧困についてなど



事業： 孤立する困難家庭と子どもの包摂的事業

1、ひとり親や困難家庭のためのアウトリーチ事業の実施

- ① Google検索によるアウトリーチ・仙台市との協働による相談支援事業の開設
- ② 地域連携によるアウトリーチの実施（町内会・民生委員・学校・児童館）

< ひとり親等の相談支援事業 >



< 令和3年4月～令和4年3月 >

仙台市
子育ての支援

子育て家庭のための相談窓口と情報サイト
POLLUX
ボルルクス

ボルルクスは、シングルママやパパ、ふたり親のママやパパの悩みをお聞きしてサポートするための相談窓口です。

「子育て、教育、お金、仕事、支援制度」などの悩みや疑問について、必要な情報をわかりやすくお届けします。ママやパパのこれからの一歩を一緒に考えます。私たちに聞かせてください。

① 相談は何回でも無料です
相談料はかかりません。

② メール・電話・オンライン・対面相談をすべて
メールは24時間受け付け、ご都合の良い方法で相談ができます。

③ 必要な情報をメールマガジンでお届けします
よりよい支那の環境や支援制度などを定期的にお知らせします。

POLLUXの開催中心
仙台市子育て支援センター
仙台市子育て支援センター
仙台市子育て支援センター

お悩みが無理でなくても、どんな悩みでも安心してお話しください。

詳しくは裏面へ！

相談
無料
24時間受付

相談支援窓口の開設

子育てに悩んで
いるあなたへ

「お金がわずかで生活ができなくなりそう」
「子育て、どうしたらいいの」
「子どもの発達気がかり」
「誰にも頼れない」

いま抱えている悩みを聴かせてください
これからの一歩を私たちと一緒に
考えませんか

メールする

ひとりで抱えていません

<お金>
「手元の現金がもうわずか、生活ができな

Google検索のアウトリーチ

事業： 孤立する困難家庭と子どもの包摂的事業

2、地域と子どもと家庭を見守り・支える・育む居場所事業の運営

地域と協働で、「子どもと家庭を見守り支え、育む居場所」を開設。

子どもには愛情を注ぎ、多様な人との出会いや経験を通して「生きる力（非認知能力）」を育む居場所、保護者には、「子育て」「就労」「法律」「行政への同行」等の相談支援や伴走支援を行っている。

<地域& STORIA>

地域で見守り支える居場所



保護者



相談支援

保護者の悩みや課題を連携機関と一緒に解決する支援

子育て支援



就労支援



同行支援
ソーシャルワーク



食糧支援



子どもたちの土台となる自己肯定感と生きる力を育む支援

2,544人
子どもを
支援（延べ）

子ども



子育て支援

まなびサポート



食育サポート



非認知能力向上サポート



事業：緊急サポート事業

ひとり親等の困窮している子育て家庭を対象に、ご寄附を活用し食糧支援を実施した。
また、食糧支援を通して生活支援等の相談支援も実施し、ご家庭の根本的な課題解決を目指した。

〈食糧支援〉

1,218
世帯



その他 要保護児童等見守り強化支援事業

仙台市から委託を受け、要保護児童等見守り強化支援事業を実施した。

102
世帯

	のべ 訪問回数	訪問回数毎の世帯数					合計
		1回	2回	3回	4回	5回	
青葉区	80	0	0	5	5	9	19
宮城総合支所	30	1	0	0	1	5	7
宮城野区	260	0	2	3	13	39	57
泉区	84	0	0	2	7	10	19
合計	454	1	2	10	26	63	102

給食がない長期お休み期間に食品をお届けします
対象地域：青葉区、宮城野区、泉区

無料 子ども宅食

延長がなくなり、登校や登園の負担が増える要保護児童等、ひとり親や高齢者の世帯が、安心して食事をとれるよう食品をお届けします。

サポート内容
食品の届出・届出の受付
食品の届出・届出の受付
食品の届出・届出の受付

対象
仙台市内（青葉区、宮城野区、泉区）に在住
1年以上お休み期間中の小学生、中学生のひとり親世帯

サポート期間
2024年度の長期お休み期間（夏休み、冬休み、春休み）
※お休みの日を除く

申し込み
① 本人または家族の申請書を送付し、受付します。
② 食品の届出・届出の受付を行います。
③ 食品の届出・届出の受付を行います。

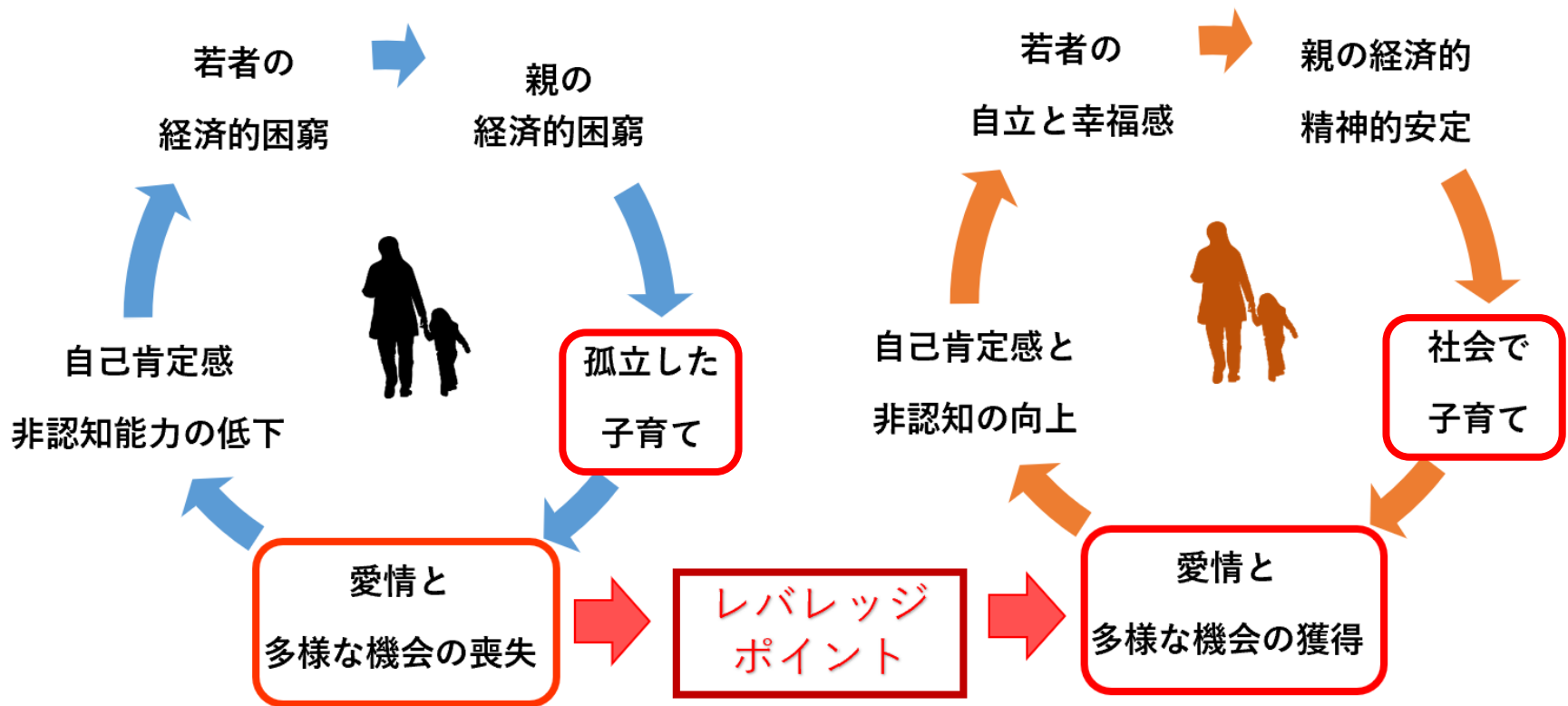
080-3335-3828
受付 10:00~18:00
TEL 1300-1700
info@smile.storia.or.jp

STORIA Mission (レバレッジポイント)

愛情が循環する未来へ

貧困の連鎖

愛情の循環



「見守強化支援事業の事例」

具体的な見守事業の概要

(1) 対象者：仙台市内5区の内、2区を担当（約100家庭）

- ・ 要保護・要支援児童とその家族
 - ・ その他、支援や見守りが必要な子どもとその家庭
- * 子どもの年齢は0歳～18歳まで

(2) 対象者には食品サポートという事業の見せ方

- ・ 食品や生活用品、お菓子や文房具など必要な物を持って行く
- ・ 各家庭の家族構成や好み、アレルギーなどにも対応

(3) 対象者のアセスメント

- ・ 仙台市の各区役所が基本的に行い、当法人と打ち合わせしながら訪問頻度を決める（年間を通じて変化もある）
- ・ 区から見て来て欲しい部分（子どもの目視確認、虐待やネグレクト等）を依頼されることも多い
- ・ 訪問時に、アセスメント（仙台市の虐待マニュアル）を行い、訪問後は必要であれば区に報告。毎月全家庭の報告を行う。

具体的な見守事業の概要

子育て家庭を応援
対象地域：宮城野区・若林区

利用無料

子ども宅食

子育てをしている保護者やお子様へ、
食品・生活用品をお届けするサポートを始めました。

サポート内容

食品や生活用品の配達
お米、レトルト食品、スープやジュース、粉ミルク、離乳食など、簡単に調理しやすい食品を定期的にお届けします。

子育て・生活相談

- 相談は無料です。
- 子育て・お金・教育などの悩みに専門の相談員がお話を聴きます。
- メールや電話など、ご相談しやすい方法で相談可能です。

定期的にお届けに来ます！

家計も助かります！



申込方法

下のQRコードを携帯電話のカメラで読み込み、情報をご入力ください。
お電話やメールでも申し込むこともできます。



080-4598-5997
平日 10:00~18:00
土曜 13:00~17:00

info@smile.storia.or.jp

対象

宮城野区・若林区にお住まいの18歳未満(高校生含む)のお子様のいるご家庭。

サポート期間

2022年度(2022年4月~2023年3月)

ポイント!

- ① 個人情報や相談内容など、秘密は守ります。
- ② 食品の受け取りはお子様でも可能です。
- ③ 食品以外にお菓子や生活用品もお届けします。

本事業は仙台市の委託により運営しています。



運営団体
認定NPO法人STORIA(ストーリーア)
仙台市青葉区春日町 9-15 505



見守強化支援事業の体制

宅食という方法を用い、仙台市（区役所）と対象家庭をアセスメントをし、必要な頻度に応じて訪問する。対象者からの相談も可能。

<事業全体図>



STEP 1 : 案内

STEP 2 : 申し込み

STEP 3 : 訪問・見守り・支援

見守り活動での工夫

■所属がない・不登校の子どもに会うため、訪問支援の工夫



具体的な見守事業の対象家庭のケース

- (1) 児童養護施設から家庭復帰をしたシングルマザーの家庭と子ども
- (2) 母親が精神疾患で小学生の子どもがヤングケアラー化してる家庭
- (3) 母親が区役所や学校に不信感があり、子どもの目視確認ができず対応に困っているシングルマザーの家庭。

<大切なこと>

①日ごろから行政との信頼関係を築く

- ・施策をつくる課と信頼関係を築きながら事業や仕様書を提案し、一緒につくる
- ・実務の課の立場を考え、少しでも仕事が楽になるような事業設計と慮りの心

②要保護児童対策協議会の構成員となることで個人情報の問題をクリアー

<事業全体図>



STEP 1 : 案内

STEP 2 : 申し込み

STEP 3 : 訪問・見守り・支援

見守事業の課題

事業の構造について

- (1) 1エリアに対し予算がついているため、地域の規模や特徴に応じた予算額ではない。

事業実施について

- (1) 命にかかわる重篤なケースがあるため、支援員のマインドと高度なスキルが求められる

* ソーシャルワーク、相談、行政や関係機関とのコミュニケーションスキル

* 自治体によって民間に求める範囲が違っているので、仕様書が作られる前に話し合うことが大切

- (2) 個人情報やり取りや、取り扱いについて厳重にしなければならないがその管理能力が必要

* 行政以外からの対象者の相談やリファーマについて個人情報絡んでくる

* 対象者のデータについての管理（紙・クラウド等）が厳重に求められる



STORIA

子どもたちの未来をつむぐ

